

High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い

統合開発環境 High-performance Embedded Workshop の使用上の注意事項を連絡します。

- 環境変数についての注意事項

1. 該当製品

次のコンパイラパッケージに含まれるHigh-performance Embedded Workshopが該当します。

- (1) M32Rファミリ用Cコンパイラパッケージ
M3T-CC32R V.4.20 Release 1 および V.4.20 Release 1A
- (2) M32C/80, M16C/80 および M16C/70シリーズ用Cコンパイラパッケージ
M3T-NC308WA V.5.20 Release 1
- (3) M16C/60, M16C/30, M16C/Tiny, M16C/20, M16C/10 および
R8C/Tinyシリーズ用Cコンパイラパッケージ
M3T-NC30WA V.5.20 Release 1 および V.5.30 Release 1
- (4) R8C/Tinyシリーズ用Cコンパイラパッケージ (専用無償版)
M3T-NC30WA V.5.20 Release 1 (*)
M3T-NC8C V.5.30 Release 1
* 2004年4月1日から、製品名をM3T-NC30WAからM3T-NC8Cに変更しています。

2. 内容

autoexec.batファイル内で環境変数TMP(**)の値に設定したディレクトリがPC上に存在しない場合、ビルド時に次のいずれかのエラーが発生します。

```
Can't create Temporary file  
Can't open Temporary file  
Can't open file 'file'
```

** TMPは使用しているコンパイラパッケージによって以下のとおり 読み替えてください(以降すべてのTMPを読み替えてください)。

--	--

コンパイラパッケージ名	環境変数名
M3T-CC32R	M32RTMP
M3T-NC30WA	TMP30
M3T-NC308WA	TMP308
M3T-NC8C	TMP8C

3. 回避策

以下の手順で環境変数を設定してください。

- (1) プロジェクトがオープンされている場合は、プロジェクトを閉じます。
- (2) メニュー「ツール」→「アドミニストレーション」をクリックして、ツールアドミニストレーションダイアログボックスを開きます。
- (3) 登録済みコンポーネントリスト内のToolchainフォルダの「+」をクリックしてコンポーネントを表示します。
- (4) Renesas xx Standard Toolchainを選択します。(xxはMCUファミリまたはシリーズ名に読み替えてください。)
- (5) プロパティボタンをクリックして、Renesas xx Standard Toolchain プロパティダイアログボックスを開きます。
- (6) 環境タブをクリックして、環境変数ページを表示します。
- (7) 追加ボタンをクリックして、環境変数ダイアログボックスを開きます。変数テキストボックスに環境変数TMPを、値テキストボックスにディレクトリ名を記入します。
- (8) OKボタンをクリックして、すべてのダイアログボックスを閉じます。

4. 恒久対策

コンパイラパッケージの次期バージョンアップの際に、High-performance Embedded Workshopが環境変数TMPを自動設定するよう改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。